



亀山大希院長

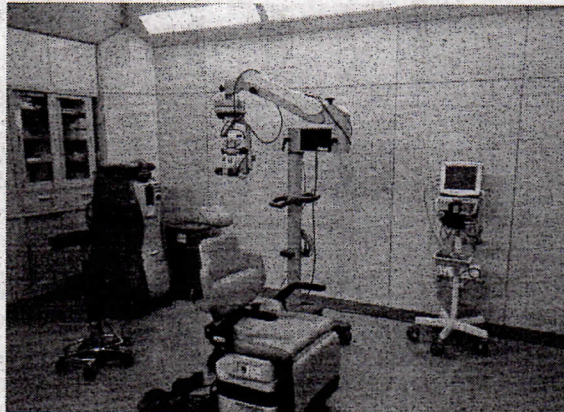
診療所拝見

亀山眼科

「ふるさとで地域医療に貢献したい」との強い思いを胸に、十一月二日に西帯広で開業した。旭医大、名寄市立病院や八雲総合病院で研さんを積んできた。旭医大では、黄斑外来を担当してきたこともあり、加齢黄斑変性症の診断・治療を得意とする。

「今後、加齢黄斑変性症に対する硝子体注射は、増加の一途になる」と、これまで数多くの硝子体注射の経験を生かし、手術室で行うことの多

切開幅2.2ミリで手術



クリーンルームの手術室

硝子体注射は外来で対応

い治療を、感染対策等に万全を期して、外来で対応している。

白内障手術のための手術室も完備。切開幅二・二ミリの低侵襲治療を実現するため、手術顕微鏡と白内障治療機器の選定に際しては、コストよりも精密性と使用感にこだわると、スタッフには明確な指示を出す。自身は時間をかけて説明し、納得してもらえよう心掛けていく。

開院初日に六十人の患者が来院。予想以上の反響に、今後への手応えを感じているという。

Data ◇所在地＝帯広市西20条南2丁目33-3 ◇平成26年11月開業
◇診療科＝眼科・無床